資料5

福山駅前広場整備基本計画等の内容について

２０２６年（令和８年）１１月５日

福山市　企画財政局　福山駅周辺再生推進部　福山駅周辺再生推進課

3-1 駅前広場の役割

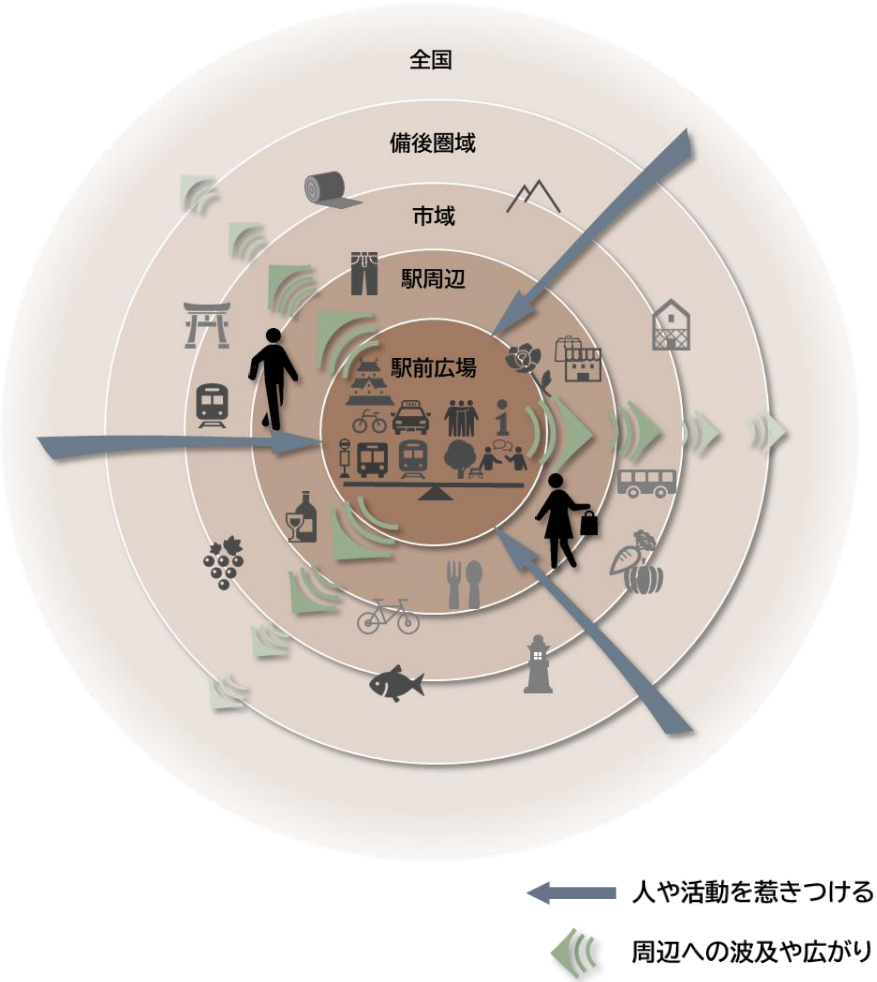
駅前広場は、備後圏域の玄関口として鉄道、バス、タクシー、一般車など多様な交通が接続する交通結節点であり、多くの人が行き交い、乗換え、立ち止まり、まちへ歩き出す場所でもあります。

こうした多様な人の動きが重なる場所であるからこそ、交通の利便性を確保するだけでなく、人々を迎え、安心して過ごし、滞在や交流を支える都市の広場としての役割が必要です。

また、駅前広場は、駅と駅周辺をつなぎ、人の流れや活動がまちへ広がる起点となる場所です。福山らしい魅力やにぎわいを感じながら、歩いて回遊したくなるウォーカブルなまちづくりを進めるうえでも、その役割は重要です。

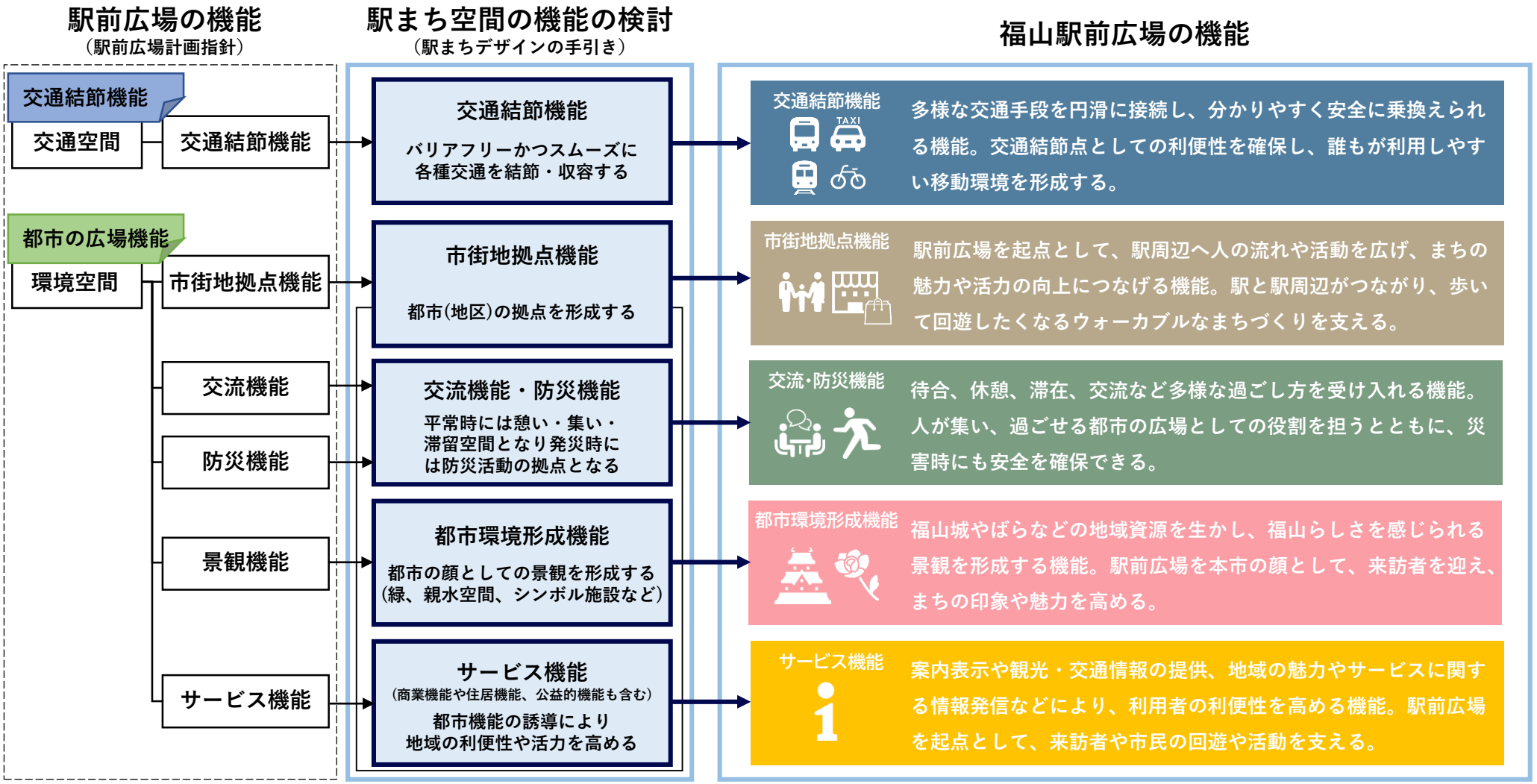
こうした駅前広場の役割を踏まえ、交通結節機能と都市の広場機能が融合した空間形成を進めることで、人が通過するだけでなく、集い、憩い、まちへ歩き出す、福山らしい「人の風景」が生まれます。そして、駅前の魅力や求心力を高め、人や活動を惹きつけることで、持続的な都市の発展につなげていきます。

駅前広場は、交通をつなぎ、
人が集い、まちへ広がる起点となる場所



3-2 駅前広場の機能

建設省監修の「駅前広場計画指針」や国土交通省が公表する「駅まちデザインの手引き」では、駅前広場は交通結節点としての機能に加え、都市の広場としての機能を担う空間として整理されています。本計画では、こうした考え方を踏まえ、駅前広場の機能を次のとおり整理します。



「駅前広場計画指針」建設省都市局都市交通調査室監修
社団法人日本交通計画協会編集（平成10年）

「駅まちデザインの手引き」駅まちデザイン検討会（令和3年）

「駅まち空間」とは、駅や駅前広場と一体的に周辺市街地との関係も踏まえ、必要な機能の配置を検討することが期待される空間のこと。

出典：「駅まち再構築事例集」（国土交通省都市局街路交通施設課）P6の図を一部改変して掲載

3-3 空間形成の基本的な考え方

駅前広場の役割と機能を踏まえ、今後、広場空間を具体化していくうえで、大切にすべき基本的な考え方は次のとおりです。

（1）駅周辺とのつながりを意識した空間づくり【P.3 方向性①】

駅前広場単体ではなく、駅と駅周辺とのつながりや連続性を意識し、**人の流れや活動が広場から駅周辺へ広がる空間**づくりを検討します。**回遊したくなるウォーカブルなまちづくりにつながる動線や植栽の配置を含め、駅舎からの視界が広がる空間**づくりを検討します。



（2）安全で快適な歩行環境【P.3 方向性①②】

歩行者動線は**駅や交通施設、駅周辺を安全で分かりやすく円滑につなぐ**ものとし、道路の歩道として位置付けるほか、広場内を東西南北に移動しやすい歩行環境を検討します。併せて、**雨天時の移動やバリアフリーに配慮**し、高齢者や障がい者も安全かつ快適に移動できるよう検討します。



（3）多様な利用を受け入れる空間構成【P.3 方向性②④⑤】

通行、乗換え、待合、滞在、交流など、多様なニーズに対応できる空間構成を検討します。日常利用とイベント利用の双方に対応でき、にぎわいと憩いが共存する柔軟性のある空間づくりを検討します。また、**災害時にも安全を確保できる空間**となるよう検討します。



（4）福山らしさを感じられる景観形成【P.3 方向性③】

分科会やふくまちヒロバラボの意見を踏まえ、**福山城の遺構やばらなどの地域資源を生かし、福山らしさを感じられる景観形成**を検討します。本市の玄関口にふさわしい、印象的で親しみのある空間をめざします。



（5）情報発信と案内に配慮したデザイン【P.3 方向性⑥①】

誰もが目的地や交通施設を分かりやすく利用できる案内表示や情報提供について、デジタル技術の活用も視野に検討します。また、都市の玄関口である駅前広場の立地特性を生かし、**地域の魅力や資源などの情報の集積や発信・交換ができる環境**整備を検討します。



（6）将来の変化に対応しやすい空間づくり【P.3 方向性④⑤】

デジタル技術の進化や**交通需要の変化、多様な利活用**にも柔軟に対応できる空間づくりを検討します。また、グリーンインフラ※5などによる環境負荷の低減や維持管理のしやすさにも配慮し、持続可能な空間づくりを検討します。



4-1 機能配置計画

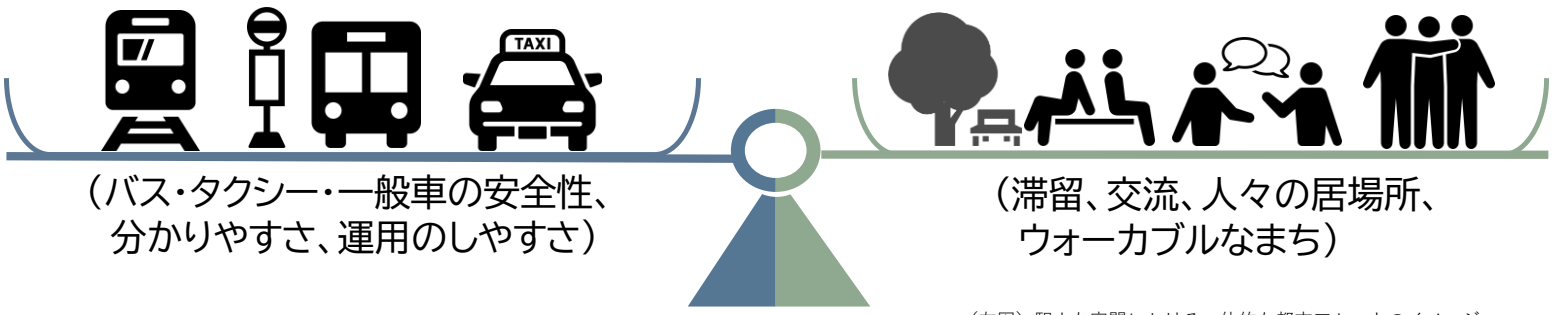
駅前広場の役割や機能を踏まえると、駅前広場は交通結節機能と都市の広場機能のいずれかに偏るのではなく、両方をバランス良く配置し、一体的に機能させることが必要です。

この考え方のもと、アンケート調査や実証実験による検証、ふくまちヒロバラボや各種団体との意見交換などにより、若者や女性、高齢者や障がい者など多様な視点を踏まえた議論を経て、交通施設及び広場空間の配置や規模、駅周辺の道路計画を示す「機能配置計画」をとりまとめました。

この機能配置計画は、最終的に協議会において一本化した整備計画（駅前広場の南側にバスターミナルを縮小して配置する案）をベースにしています。







（左図）駅まち空間における一体的な都市アセットのイメージ
出典「駅まちデザインの手引き」（駅まちデザイン検討会）の図を一部改変して掲載
（右図）人中心の空間として再生したまちのメインストリート
出典「2040年，道路の景色が変わる ~人々の幸せにつながる道路~ 」（国土交通省）

4-3 広場空間

広場空間	考え方
①福山駅前広場	• 駅舎と路線バス乗降場の間に**約5,800㎡の広場空間**を確保します。 • 施設配置については、駅舎からの視界や周辺エリアとのつながり、**安全で円滑な動線づくり**、滞在や交流ができる施設を検討します。 • 広場全体として**調和のとれた色彩や形態・意匠**を検討します。 • 施設は、**情報発信施設、休憩施設、雨よけ施設、日陰施設、親水空間施設、防災施設、緑地、福山城の遺構やばらを表現する施設**などを検討します。 • NEWCASPA（ニューキャスパ）前のトイレ（Everyone smile toilet）の増設を検討します。（この施設は本計画で確定するものではなく、広場の詳細な設計と併せて定めていきます。） • 新たなトイレ設置は、広場の詳細な設計とあわせ具体的なニーズを確認します。 • **五浦釣人像（いづらちょうじんぞう）はタクシー転回場の中央部へ移設**します。 • 地下送迎場の出入口のコンクリート壁等は、修景などにより圧迫感を軽減します。 • 広場内の自転車の通行方法は、**押し歩き**を基本とします。
②アイネスフクヤマ前	• アイネスフクヤマ前に**約1,300㎡の広場空間**を確保します。 • 休憩施設、日陰施設等は、福山駅前広場と一体的に検討します。

4-4 交通施設

交通施設	考え方
①路線バス	• バス事業者との協議により乗降場は１２台分から６台分へ集約し、**駅前広場の南側へ配置**します。 • イベント時などに使用できる乗降場は、駅前広場周辺を含めて配置を検討します。 • **待機場は郵便局前へ配置**します。 • 乗降場は利用者の動線を踏まえ、バスの停車場所を効率的に配置し、**乗降場全体の面積を極力小さく**します。 • 乗降場及び主要な歩行動線には**雨よけを設け**ます。 • 乗降場内の車路は基準に基づき、大型バスが通行できる幅員とします。 • **待合所はバス乗降場の北側へ配置**します。（待合所の配置は本計画で確定するものではなく、今後、広場の詳細な設計と併せて定めます。）

4-6 施設の規模

施設			規模
広場空間	広　場		約5,800㎡（駅前広場） 約1,300㎡（アイネスフクヤマ前）
交通施設	路線バス	乗降場	駅前広場南側 乗降バース数：６バース
		待機場	駅前大通り（郵便局前） 待機バース数：６バース
	タクシー	乗降場	駅南側（五浦釣人像付近） 乗車バース数：３バース 降車バース数：７バース
		待機場	駅前大通り（郵便局前） 待機バース数：１８バース
	中・小型バス	送迎場	福山駅北口広場 乗降バース数：７バース（まわローズ兼用）
	大型バス	送迎場	福山駅北口広場 乗降バース数：３バース 駅前大通り（郵便局前） 乗降バース数：３バース
	一般車	送迎場	伏見町北側：１１バース 北口広場・地下・西側の送迎場（現状と同様）
	自転車	駐輪場	伏見町北西（地下式）駐輪台数：約100台 アイネスフクヤマ前（平面式）駐輪台数：約90台

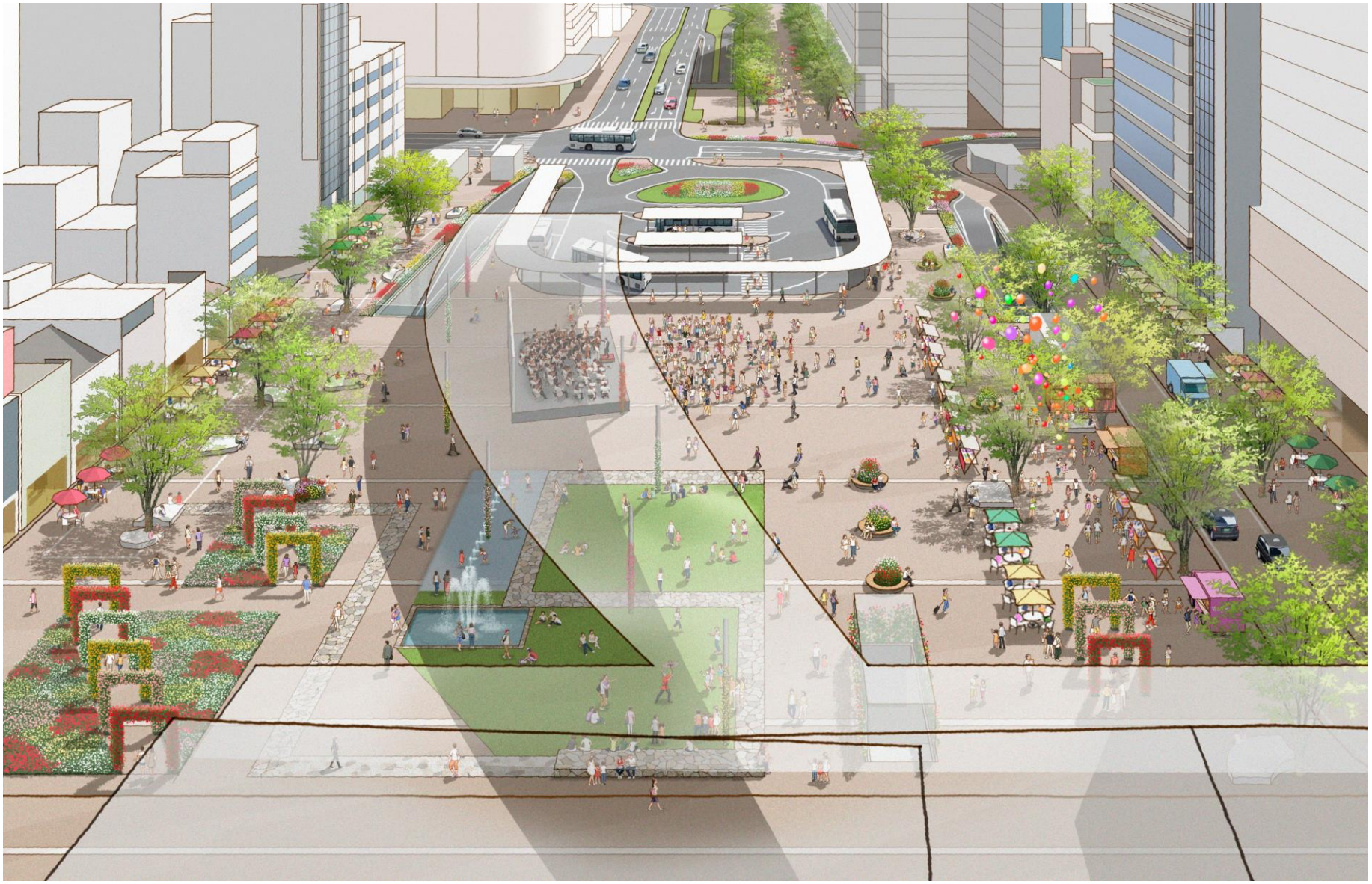
○概算事業費

- ２０２５年の建設単価により算出した概算事業費は約４０億円です。
  （広場整備：約19億円　道路整備：約18億円
  駐輪場：約3億円）
- 今後の物価変動や施設の詳細検討、新たな施設の設置などにより変動します。
- 国の交付金を活用するなど有利な財源の確保に努めます。

【追記】
財源内訳見込み

国の交付金	約20億円
市債の一部に対する 国からの交付税措置	約4億円
市の実質負担額	約16億円
合計	約40億円

5-1 北からの鳥瞰



この図はイメージであり、施設の配置やデザインは決まったものではありません。
多様な活動や使い方ができ、福山らしさが感じられる駅前広場のイメージを共有するために作成したものです。

5-2 南からの鳥瞰



この図はイメージであり、施設の配置やデザインは決まったものではありません。
多様な活動や使い方ができ、福山らしさが感じられる駅前広場のイメージを共有するために作成したものです。

5-3 駅から南方面の風景



この図はイメージであり、施設の配置やデザインは決まったものではありません。
多様な活動や使い方ができ、福山らしさが感じられる駅前広場のイメージを共有するために作成したものです。

5-4 三之丸町からの鳥瞰



この図はイメージであり、施設の配置やデザインは決まったものではありません。
多様な活動や使い方ができ、福山らしさが感じられる駅前広場のイメージを共有するために作成したものです。

6-4 広場の管理運営について

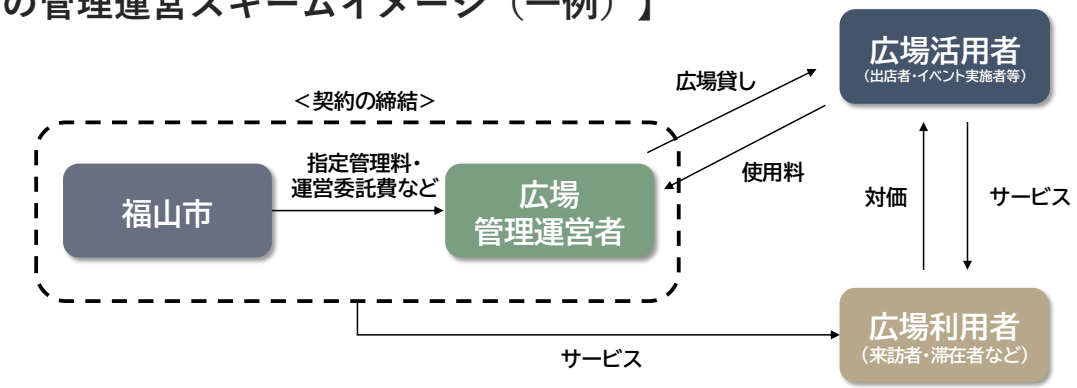
・行政のみでは対応が難しい柔軟で利用者志向のサービス提供、効率的な維持管理、継続的なにぎわい創出を実現するため、民間の創意工夫等を取り入れます。

・関係者と協議しながら民間活力を活用したスキーム※6の検討を行います。（イメージの一例を下図に示す）

・供用開始後の適切な管理運営や、誰もが使いやすく過ごしやすい広場につなげていくため、（仮称）広場活用連携検討会を通じて市民や事業者などの意見を聴きながら、設計前までに管理運営体制を構築していきます。
（EOI方式※7の導入などを検討します）

・駅周辺の各拠点（福山城や中央公園など）と連携を図り、駅周辺全体の回遊性を高める運営をめざしていきます。

【広場の管理運営スキームイメージ（一例）】



期待される波及効果

- 広場への来訪・滞在者の増加
- 駅周辺の魅力発信・回遊・来訪の増加
- 駅周辺のエリア価値の向上
- 市域・備後圏域の持続的な発展

6-5 駅前広場と連動したまちづくり

・駅前広場の再整備との連動や駅舎とのつながりを念頭に、伏見町をはじめとする駅周辺エリアへの良質な投資の促進に向けて、地権者や事業者などとともに将来のまちづくりを検討していきます。

駅前広場を**交通結節機能を確保**しつつ、
『人々が集まり・出会い・交流が生まれる場』に変えることで、
都市の顔である駅前が魅力的なエリアになっていく

現在の駅前広場

交通に特化した空間

- 通り過ぎるだけの場所
- 人の溜まりが無い
- 愛着や誇りが持てない
- 福山の歴史が感じられない

↓

人が集まらない

↓

出店や起業が起こりにくい



↓

魅力がない





機能バランスが取れた広場へ

整備後の駅前広場

交通結節点と居心地の良い良質な空間

- 広場そのものを目的地にしたい
- 人が集い、憩い、くつろげる空間にしたい
- 愛着や誇りが持てるようにしたい
- 福山の歴史が感じられる空間にしたい

↓ これらが実現できたら…

人が集まる

↓

出店や起業が起こりやすい



↓

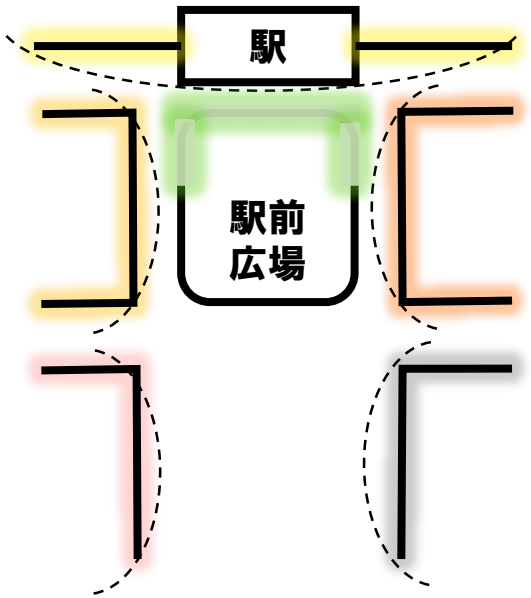
魅力的なエリア



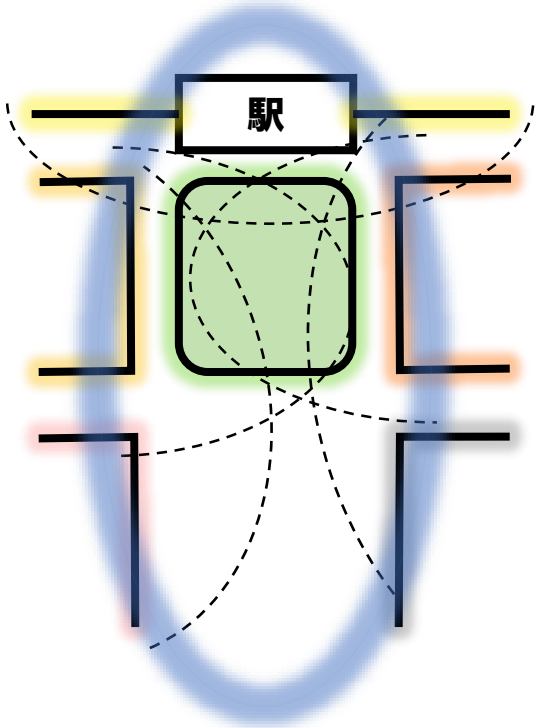
広場整備でめざすもの

（2025年8月9日実施 福山駅前広場市民対話集会説明資料より抜粋）

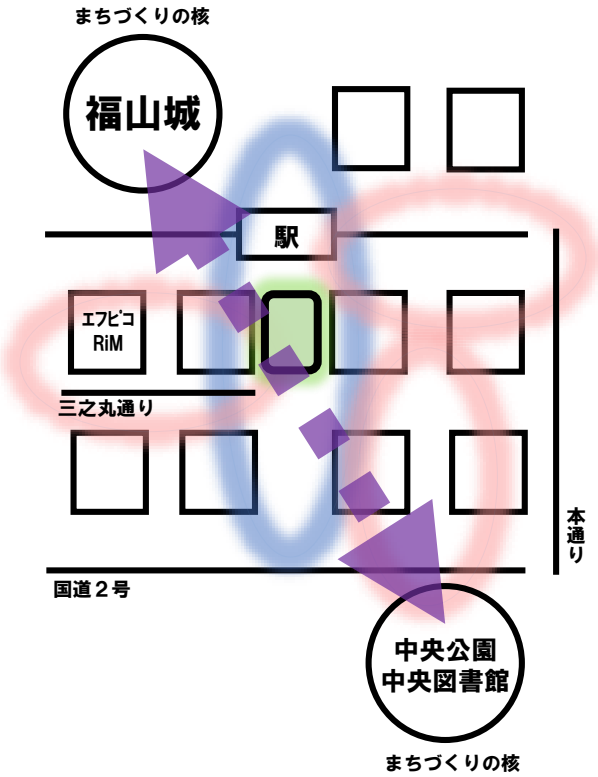
広場の効果が限定的で
それぞれの店舗の効果に
つながりが生み出せてい
ない



広場の効果が周辺の店舗の
効果をつなぎ、にぎわいの
効果が相乗的に拡大する



他のエリアにも効果が波及して、
駅周辺に民間投資が起こっていく



意見聴取機会の整理

これまでの市民意見聴取機会で得られた、自由意見・自由記述から駅前広場に求められる施設・機能を抽出し、福山駅前広場整備基本計画に、どのように反映しているか整理した。なお、1つの記述で複数の意見があると考えられるものは重複して集計を行っている。



ふくまちヒロバラボ



市民対話集会



福山駅前広場協議会分科会
（広場活用連携）



福山駅前広場再編実証実験

【項目】

雨・日差しをよけられる屋根／大屋根（雨に濡れない広場空間）／遺構の活用／防災／デッキ／福山城への視点場／休憩スペース／治安・ごみ対策／一般車での送迎／情報発信の場／地域資源（繊維、鉄、デニム等）の活用／トイレ／樹木・みどり／芝生広場／ばら／水辺空間／ショップ／シンボル／バリアフリー／キッチンカー／ステージ／マルシェ・イベントスペース／こどもの遊び場／勉強の場・学生向け／パブリックビューイング・大型ビジョン／文化芸術／スポーツ／遊具／駐輪場／ドッグラン／その他

意見聴取機会一覧

No.	意見聴取機会	年	開催回数	意見聴取対象	意見収集方法
1	ふくまちヒロバラボ	2025年	4回	40代以下の市民	ワークショップ
2	市民対話集会	2025年	1回	市民	ワークショップ
3	福山駅前広場協議会分科会 （広場活用連携）	2026年	2回	周辺地権者・ 周辺事業者	ワークショップ
4	福山駅前広場に関する アンケート調査	2020年～2022年	3回	市民	アンケート
5	ふるさと福山学生応援パック アンケート	2021年	1回	福山にゆかりのある 大学生・大学院生	アンケート
6	福山駅前広場再編実証実験	2022年、2024年	2回	市民（利用者）	アンケート
7	福山駅前広場整備基本計画（案）に係るパブリックコメント	2026年	1回	市民	意見公募

主な意見まとめ

意見聴取の機会ごとの、意見の集約結果は次のとおり。全体を通して、休憩スペースの充実、イベントスペース、ショップ、こどもの遊び場、遺構の活用、樹木・みどりの場を求める声が多くあった。

ニーズ大

	ヒロバラボ（77件）	市民対話集会（134件）	広場活用分科会（69件）	2020アンケート（504件）	2021アンケート（2,146件）	2022アンケート（2,027件）	ふるさと福山学生応援パックアンケート（625件）	実証実験（177件）	パブリックコメント（24件）
方法	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	アンケート	アンケート	アンケート	アンケート	アンケート	意見公募
1位	こどもの遊び場（9件）	マルシェ・イベントスペース（24件）	休憩スペース（15件）	マルシェ・イベントスペース（31件）	休憩スペース（191件）	マルシェ・イベントスペース（236件）	休憩スペース（199件）	休憩スペース（18件）	樹木・みどり（4件）
2位	マルシェ・イベントスペース（8件）	福山城遺構の活用（20件）	イベント用インフラ（11件）	ショップ（28件）	マルシェ・イベントスペース（171件）	休憩スペース（160件）	ショップ（104件）	こどもの遊び場（10件）	福山城遺構の活用（4件）
3位	ステージ（7件）	休憩スペース（17件）	情報発信の場（9件）	休憩スペース（25件）	ショップ（145件）	ショップ（137件）	マルシェ・イベントスペース（101件）	ショップ（9件）	マルシェ・イベントスペース（3件）
4位	ショップ（6件）	こどもの遊び場（13件）	雨・日差しをよけられる屋根（7件）	一般車での送迎（18件）	樹木・みどり（132件）	樹木・みどり（129件）	樹木・みどり（65件）	樹木・みどり（8件）	デッキ（3件）
5位	情報発信の場（6件）	樹木・みどり（11件）	こどもの遊び場（7件）	福山城遺構の活用（16件）	こどもの遊び場（74件）	こどもの遊び場（126件）	こどもの遊び場（38件）	雨・日差しをよけられる屋根（7件）	

意見反映状況の整理

これまでの市民意見の多くを基本計画に反映しており、今後は施設の規模や詳細のデザインの検討が必要となる。引き続き意見聴取を行い、市民意見を反映した駅前広場の実現をめざす。

